

令和 7 年度富山国際大学入学者選抜 一般選抜(学力検査)における教科・科目の「出題の意図」等について

本学が設置する現代社会学部及び子ども育成学部において、「入学者の受け入れ方針」(アドミッション・ポリシー)に基づき、知識・思考力・判断力などの基礎学力を測るうえで、全学共通(国語は一部を除く)の教科・科目の問題による学力検査を行っています。

各学部が設定している教科・科目は、次のとおりです。

現代社会学部 = 必修科目:英語 選択科目:国語、数学から 1 科目 全 2 科目

子ども育成学部 = 必修科目:英語・国語 全 2 科目

なお、その教科・科目の出題の意図等については、次のとおりです。

また、例年の出題の傾向と本年度の出題の概要も併せて示します。

【英語】 (現代社会学部・子ども育成学部)

〔出題の意図〕

大学の講義や専門分野の文献を理解するためや、教育の現場でのグローバル化などに伴い、土台となる英語の語彙力と文法知識が不可欠であり、これらの基礎力が定着しているかを確認するために出題しています。また、読解問題を通じて、文脈を正確に把握する力や、文章の論理構成を理解する力も測ります。さらに、英語はグローバルなコミュニケーションツールでもあり、文章を理解し、それに基づき思考する力は、異文化理解や国際的な場で円滑なコミュニケーションを図る上での基礎となるため、その力を測る上でも問題を出題しています。

〔出題の傾向〕

会話の応答、文法・語彙、読解、作文に関わる 5 つの大問を出題します。会話の応答は、コミュニケーション上の機能から考えて適切な表現を使えることが肝要です。文法・語彙の問題では、英語の基本的な使い方を習得しているかどうかを見ます。読解では、既存の知識を活性化して全体の要点と必要な細部の情報をつかむことが重要です。作文は長文記述問題です。ひとつのテーマや問いに対してこれまでの経験を踏まえて自分の考えをまとまり良く表現する力が求められます。

〔令和 7 年度の出題の概要〕

- 一般選抜(前期)「英語」(令和 7(2025)年 2 月 1 日実施)・一般選抜(後期)「英語」(令和 7(2025)年 3 月 14 日実施)共通(現代社会学部・子ども育成学部共通)

〔1〕 会話の応答問題

示された日常的対話の文脈を正確に把握し、設問形式や人称等のレトリカルな形式に照らして適切な応答を選択する力を試す問題である。

〔2〕 文法・語法問題

英文センテンスの空欄に、適切な語句・表現を選択して補充する設問により、文法および語法の知識を試す問題である。

〔3〕文章完成問題

英語によるニュース記事に付された選択式の設問によって、文章全体の主題と展開を的確に捉え、文意を的確に反映した語彙を、正しい文法・語法の知識に基づき空欄に補充する力を試す問題である。特に、構造・意味の連関・用法・語彙に関する知識を重視して評価する。

〔4〕読解問題

時事的トピックまたはヒューマンインタレストの英文に付された選択式の設問によって、英文の内容理解および主旨把握の力を試す問題である。

〔5〕作文問題

与えられた課題に対して、根拠に基づく見解を構成し、論理的・一貫的かつ内容の充実した英語による 150 語程度の短いエッセイを作成させる問題である。受容的技能のみならず産出的技能の達成度を評価する。

【国語】（現代社会学部・子ども育成学部）

〔出題の意図〕

国語の近代以降の文章を出題しているのは、現代社会の様々な問題を理解し多角的に分析するために、文章を読み解き、筆者の主張や意図を正確に把握する力や、限られた字数で論理的に記述できる力、また他者と円滑にコミュニケーションをとる上でも、適切な言葉遣いや表現力が身に付いているかなどを測るためです。さらに、子ども育成学部向けに出題している古文においては、昔の言葉を適切に把握しているかといった知識の定着化が図られているか、なども重視しています。国語は、基礎的な知識のもとに、論理的思考力と表現力を総合的に測るうえで問題を出題しています。

〔出題の傾向〕

「現代の国語」及び「言語文化」（近代以降の文章）を出題範囲とし、現代社会学部は「古文・漢文」を除き、子ども育成学部は「漢文」を除きます。出題は 3 つの大問で、[1]は長文問題（評論）で、語句の意味、指示語の内容、接続語、適当な表現の選択等。[2]は言葉に関する知識問題で、漢字、反意語、慣用句、熟語等。子ども育成の「古文」は、語句の意味等。[3]は長文問題（文芸）で、解答に字数指定の記述式を含みます。

〔令和 7 年度の出題の概略〕

●一般選抜（前期）「国語」（令和 7(2025)年 2 月 1 日実施）

・共通問題

〔1〕評論

語句、根拠、理由等の内容説明、論旨のまとめを合理的、客観的に記述。

〔3〕小説

場面、心情、理由等の説明、指示語を簡潔に記述。

・選択問題

〔2〕現代社会学部

漢字、相反することわざ、論理的な語彙を正確に記述。

〔2〕子ども育成学部

漢字、相反することわざ、論理的な語彙を正確に記述。古文「沙石集」現代語訳の記述。理由、タイトル付けの選択。

●一般選抜(後期)「国語」(令和 7(2025)年 3 月 14 日実施)

・共通問題

〔1〕評論

内容、理由、論旨のまとめを合理的、客観的に記述。指示語を簡潔に記述。

〔3〕小説

理由、自由発想、心情、理由等の説明を簡潔に記述。

・選択問題

〔2〕現代社会学部

誤字訂正、対義語、三字熟語を正確に記述。

〔2〕子ども育成学部

誤字訂正、対義語、三字熟語を正確に記述。古文「伊勢物語」歴史的仮名遣い、現代語訳の記述。現代語訳、文語文法、内容読解の選択。

【数学】(現代社会学部)

〔出題の意図〕

現代社会では、論理的な思考を用いて問題を分析し、解決策を導き出す、特にデータやグラフなどを用いて社会現象を分析することが求められます。数学を通じて、論理的に物事を捉え、順序立てて考える力を測るために出題しています。

〔出題の傾向〕

数学Ⅰにおいては、数と式、2 次関数、図形と計量、データの分析の領域から、数学Ⅱにおいては、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数・指数関数・対数関数、微分法と積分法の領域から出題されます。

また、記述式問題については、さまざまな現象を数学的にとらえる「思考力」、データの分類や場合分けを見抜く「判断力」、自分の考えをイメージし、論理的に説明できる「表現力」を中心に評価されます。

〔令和 7 年度の出題の概略〕

●一般選抜(前期)「数学」(令和 7(2025)年 2 月 1 日実施)

〔1〕2次関数の特徴

2次関数の式からグラフの特徴を理解し、x軸、y軸、原点に関する対称移動ができるか。

〔2〕 方程式・不等式の解

有利化を理解しているか。場合分けが必要な方程式、不等式の解法を理解しているか。

〔3〕 底と対数の関係とその特徴

底が異なる対数の大小比較ができるか。1より小さい底をもつ対数の特徴を理解しているか。

●一般選抜(後期)「数学」(令和 7(2025)年 3 月 14 日実施)

志願者がいなかったため、掲載せず。

(参考までに、直近でこの時期に行われた令和 4(2022)年度入試問題集をご覧ください。)